

3. 高齢者お達者プランの策定状況について

(6) 地域ケア会議について



加賀市健康福祉部介護福祉課

令和 8 年 9 月 3 日

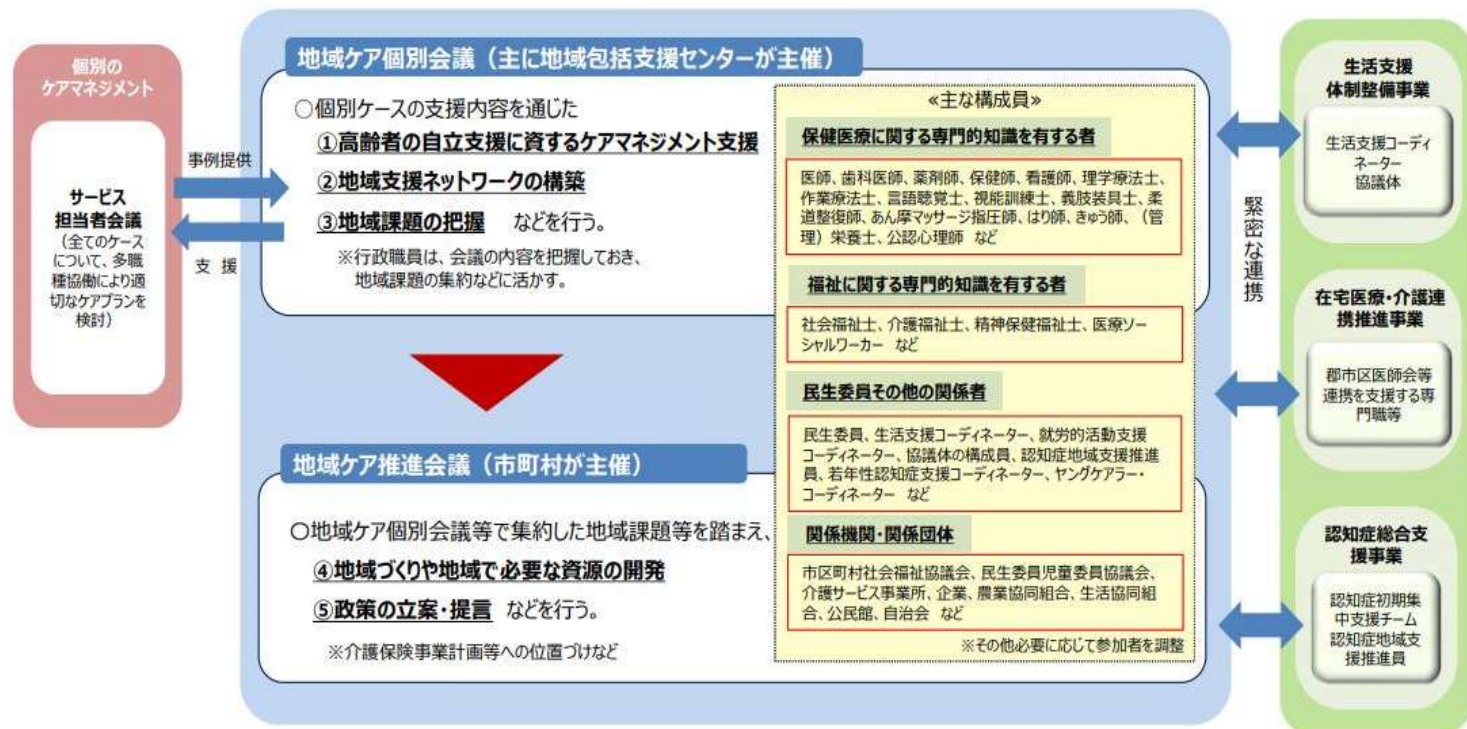
地域ケア会議の推進

地域ケア会議は、

- 地域包括支援センター等において、多職種協働による個別ケースの検討等を行い、ケアマネジメント支援、地域のネットワーク構築、地域課題の把握等を行い、
- 市町村は、個別ケースの検討により共有された地域課題を地域づくりや政策形成に結びつけていく。

※地域ケア会議の実施にかかる費用については、包括的支援事業（社会保障充実分）に係る費用として計上

<地域ケア会議の全体像>



令和6年度・令和7年度 地域包括支援センターブランチのブロック連絡会で実施した「事例検討」を見える化し、課題を整理

102の事例から拾い上げた、主なテーマ・困っている事例(抜粋)

8050問題・9060問題・親亡き後の問題、老老介護

精神障がい・知的障がい・発達障がいの家族員がいる世帯への支援

認知症の初期症状への支援(受診拒否・家族の病識不足)

セルフネグレクト、SOSを自ら出せない世帯への支援

頼れる身寄りのない高齢者への支援

家族の介護疲弊・介護負担・関係悪化、身体的虐待リスクへの発展

医療・介護・障がい分野の連携、個別地域ケア会議の実施方法

地域住民との関係づくり、ブランチの応援団づくり

アセスメント力の向上、事業所内の相談体制づくり

金銭管理・成年後見制度、経済的虐待リスクへの支援

本人意思と家族希望との隔たり、自己決定への支援

ペット問題、多頭飼ひ

免許返納後の生活、交通手段の確保

透析・インスリン管理等、医療依存度の高いケースへの支援

保証人不在による住まい確保困難、住まいの階層変え困難

独居高齢者の服薬に関する支援

終末期(看取り)への支援

障害福祉サービスから高齢へのサービス移行に関する支援

令和7年度 地域包括支援センターが実施した「個別地域ケア会議」で取り上げられた事例テーマ

●取り上げたテーマ (カテゴリー別・重複あり)

独居・身寄りなし 5件

精神症状(うち受診拒否2件) 3件

認知機能低下 2件

健康障害(がん) 1件

経済的不安 1件

●実績

令和5年度	令和6年度	令和7年度
10件	28件	9件

●具体的なテーマ一覧(抜粋)

- ◆被害妄想があり、区長ら近所の人に対応に苦慮している方の支援
- ◆不安な気持ちがある方の精神科受診へのつなぎ方の工夫、助言
- ◆近所で迷惑行為が見られる高齢者への支援と、地域・交番・学校との情報共有
- ◆がんを抱え退院後在宅で暮らす上での金銭管理への支援
- ◆独居で外出中の転倒が複数回ある方への緊急対応
- ◆身寄りのない方の引っ越し支援と保証人問題
- ◆認知機能低下のある一人暮らし高齢者への地域の見守り・支えあい体制の検討
- ◆低額の年金・生保受給者の金銭管理や介護サービスによる支援
- ◆認知機能低下に伴う課題を抱える高齢者が暮らし続けるための地域との情報共有

まとめ・検討課題

ブロック連絡会の事例検討、個別地域ケア会議から読み取れた主な地域課題を6つに分類

01

高齢・障がい等の複合課題を抱える世帯への横断的支援体制の構築

高齢の親と障がい・精神疾患のある家族員が同居する複合世帯。高齢・障がいの両分野を横断するブロック連絡会での事例検討の継続と横断的な相談窓口連携を仕組みが必要。

02

支援を求めない高齢者等への早期把握とアウトリーチ機能の強化

支援の必要性を認識していないケースや、専門職が関与しても支援の受け入れに難色を示すケースが多く見られる。初期段階からの継続的な信頼関係づくりを通じ、早期把握と基幹型包括が主になったアウトリーチ機能の強化が必要。

03

認知症の人と家族への早期支援体制の充実

認知症高齢者への支援。認知機能低下による症状の受け入れ拒否、受診拒否、家族の病識不足により支援が遅れるケースが増加。早期からの家族への働きかけと受診支援や伴走支援の強化が必要。

04

医療・介護・障がい分野間の更なる連携の強化

退院時の医療機関からの訪問依頼が増えている。また、居所変更理由の主な理由として医療的ケアの必要性の高まりで居所変更せざるを得ない状況。分野を越えた恒常的な情報連携を整備し、継続した安定的な暮らしの提供が必要。

05

独居・頼れる身寄りのない高齢者等の生活基盤の確保

単身高齢者等の増加に伴い、入院・入所時の身元保証人の不在や生活全般への支援を必要としている高齢者が増加。さらに認知機能低下等による日常の金銭・手続きの不安を抱えながら、必要な支援に繋がっていない「制度の狭間」にある課題への対応の強化が必要。

06

日常生活を支える見守り・互助ネットワークの再構築

少子高齢化や単身化に伴い、地域の見守りやゴミ出し等への対応が課題。近隣住民やボランティアによる互助による支えあいに加え、民間事業者等の地域資源を活用した緩やかな見守りの仕組みを構築し、誰もが役割を持ち、互いに支え合える仕組みが必要。